

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601226
事業所名	グループホーム ひらばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	法人内で行う毎月の朝市や、町内清掃 (ゴミ拾い) のときや散歩、買物などを通して地域の人は、幅広い交流が来ている。中学校の職場体験では利用者とお話をしてもらい、歌や手品の披露をもらっている。また、ホームの一室を子育てサークルとの交流として、年2回ほど一緒に工作をしたり、歌を歌ったりしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	2ヶ月おきに年6回開催しており、出席者も毎回12、3人の参加がある。今年度は、認知症を地域の人にも理解してもらうための取組みについての議題が多く話し合われ、その結果 認知症講座の劇をすることになり、DVD作成や民生委員会に宣伝に伺うなどしている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	区役所職員が運営推進会議に出席しているので、連携は図れている。実践者研修などへ出席したり、代表が講師として管理者研修の中の「地域との連携について」の部門で、事例をあげて発表している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	家族と共に介護を実施しており、家族との関わりは多い。年3回の家族会があり、その中の1回は旅行に出かけている。レクリエーションアンケートをとり、数多くの季節レクを行い、家族に企画や参加もしてもらっている。社長に直接意見を伝える「社長直行便」を3ヶ月ごとに実施している。法人便りの他に各個人宛に今月の様子を伝える写真付きの「ほほえみだより」を毎月発行している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。